

園芸用殺虫殺菌剤（気門封鎖剤）

エコピタ[®] 液剤

食品（還元水あめ）成分だから安心！

ハダニ類・アブラムシ類
コナジラミ類・うどんこ病を

ピタっと防ぐ!!

適用拡大

いちご、
野菜類

（いちご、トマト、ミニトマト、
きゅうり、なすを除く）

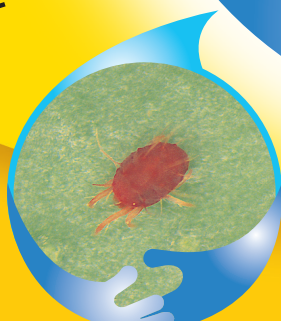
コナジラミ類
希釈倍数 100～200倍



ナミハダニ



うどんこ病



ミカンハダニ



アブラムシ類

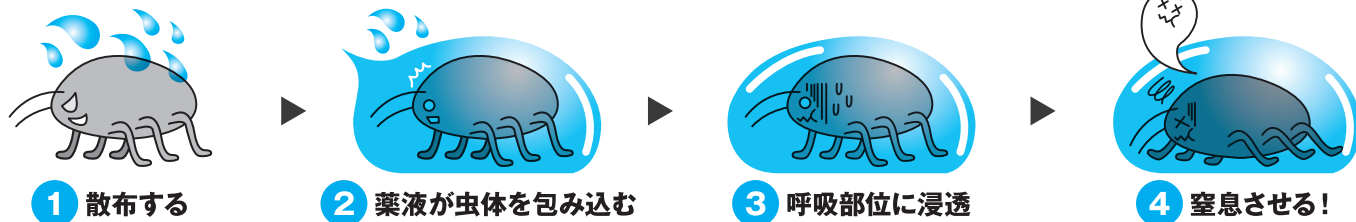


コナジラミ類

- 既存の殺虫剤や殺菌剤に感受性の低下した病害虫にも効果を発揮！
- 収穫前日まで何回でも使用可能！
- 訪花昆虫や天敵の活動にも影響が少ない！



■エコピタ液剤の働き方



■エコピタ液剤の登録内容

2022年9月現在の登録内容(太字は2022年9月7日適用拡大)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	還元澱粉糖化物を含む 農薬の総使用回数							
いちご	コナジラミ類	100～200倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	—	散 布	—							
	ハダニ類	100倍	—	定植前		10秒～1分間 苗浸漬								
野菜類 (いちご、トマト、ミニトマト、 きゅうり、なすを除く)	アブラムシ類、ハダニ類、 うどんこ病		100～300ℓ	収穫前日 まで		散 布								
	コナジラミ類	100～200倍												
トマト、ミニトマト、 きゅうり、なす	アブラムシ類、ハダニ類	100倍		発生初期										
	コナジラミ類、うどんこ病	100～200倍												
ごま	アブラムシ類	100倍		発生初期										
とうもろこし	ムギクビレアブラムシ													
花き類・観葉植物	アブラムシ類、ハダニ類	100～200倍	200～1000ℓ	収穫前日 まで		10秒～1分間 挿し穂浸漬								
	コナジラミ類、うどんこ病													
かんきつ	ミカンハダニ	100～300倍												
	アブラムシ類、ハダニ類 (ミカンハダニを除く)、 うどんこ病	100倍						100倍						
果樹類 (かんきつを除く)	アブラムシ類、ハダニ類、 うどんこ病													
きく、食用きく	ハダニ類	—	—	定植前										

■エコピタ液剤の上手な使い方

- 1 対象病害虫の発生初期に散布してください。
- 2 葉裏まで丁寧に散布してください。
ハダニ類、コナジラミ類、アブラムシ類は葉裏に多くいます。
散布ムラがあると効果を発揮できないため、丁寧な散布をお願いします。
- 3 5~7日間隔での連続散布をおすすめします。
気門封鎖剤(エコピタ液剤)は残効が期待できないため、
5~7日間隔での連続散布をおすすめします。
- 4 展着剤の加用はしないでください。

エコピタの詳しい情報は
こちらから！



〈効果・薬害等の注意〉

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤は散布液が直接害虫にかからないと効果がないため、害虫にむらなく薬液がかかるよう葉の表裏に丁寧な散布してください。
- 本剤は害虫の卵に効果がなく、残効も短いため、夏期高温時など害虫の増殖や圃場外からの飛び込みが活発なときには、5~7日間隔の連続2回散布や他剤との輪番で使用してください。
- 本剤の使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
- カーネーションに使用する場合は、茎葉のワックス層が溶け、白っぽい茎葉が濃緑色になる等の薬害を生じる場合があるので、初めて使用する場合は使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。

- なしに使用する場合は、青なし品種(二十世紀、ゴールド二十世紀等)には、薬害(褐変)が生じるおそれがあるので注意してください。
- すもも、かき、ぶどうに使用する場合は、幼果期以降の散布は果粉の溶脱を生じるおそれがあるので果実のある時期は使用しないでください。

〈安全使用上の注意〉

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼には入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。使用後は洗眼してください。

〈貯蔵上の注意〉

- 密栓し、直射日光をさけ食品と区別してなるべく低温な場所に保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届くところには置かないでください。●空容器は圃場等に放置せず、適切に処置してください。

2022年9月作成 全農企画社 P1202209002